

平成23年度及び平成24年度決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率の修正について

平成23年度及び平成24年度健全化判断比率については、平成24年度定例会9月会議及び平成25年度定例会9月会議で数値を報告し、広報紙及びホームページで公表しましたが、数値に修正が発生したため、修正した数値を平成26年度定例会9月会議に報告しましたのでお知らせいたします。

修正の内容としましては、実質公債費比率及び将来負担比率を算出する際に必要となる公共下水道事業会計に係る長期地方債元利償還金及び当該償還金に係る準元利償還金において、控除すべき額を誤って算入していたことにより、数値の修正が必要となったものです。

修正の結果は、以下の通りです。なお、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率に修正はありません。

【健全化判断比率】

1. 平成23年度

単位：％

指標の名称	修正前	修正後	早期健全化基準
実質公債費比率	19.1	18.9	25.00
将来負担比率	219.0	219.9	350.00

2. 平成24年度

単位：％

指標の名称	修正前	修正後	早期健全化基準
実質公債費比率	20.8	20.5	25.00
将来負担比率	197.7	215.9	350.00